９　産　業

（１）産業構造

令和２年の庄内地域の就業人口は、前回の平成 27 年と比較してみると、第１次産業では人口数と構成比が共に減少、第２次産業及び第３次産業では人口数と構成比が共に増加した状況となった。全県としては、第１次産業では人口数と構成比が共に減少、第２次産業では人口数が増加する一方、構成比が減少、第３次産業では人口数と構成比ともに増加した。

構成比の推移を全県と比較してみると、第１次産業、第２次産業、第３次産業とも概ね全県と同水準で推移しており、産業別就業人口は全県と同様の構造となっている。

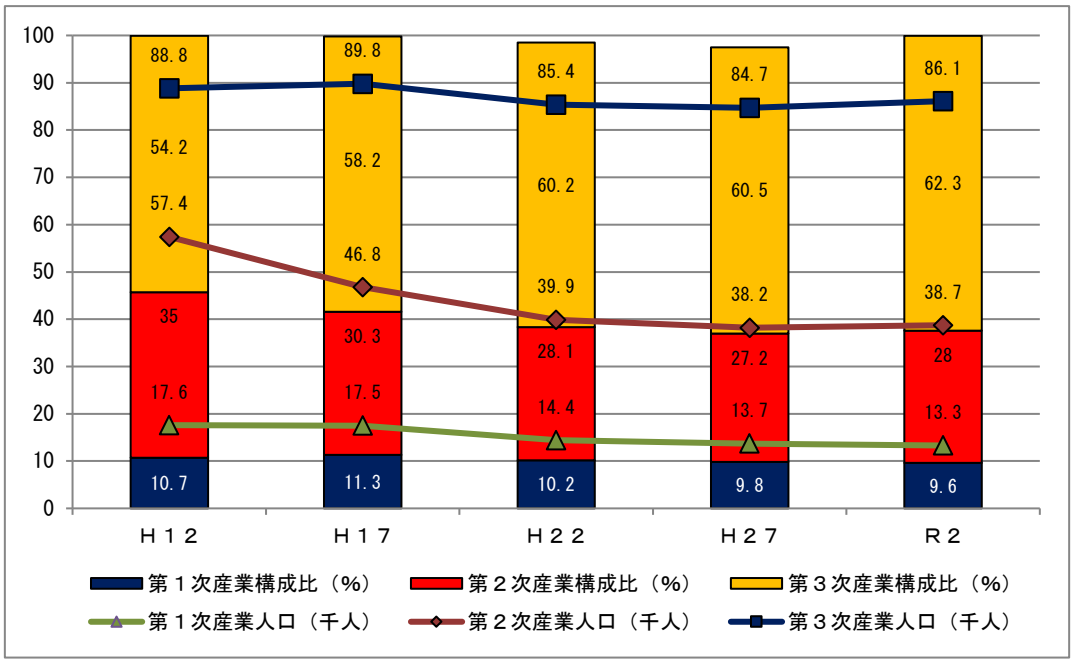
令和４年度の産業別総生産の構成比を見ると、庄内地域は製造業、卸売・小売業、不動産業、保健衛生・社会事業の占める割合が高い。県内総生産の構成比と比較すると、製造業の割合が高く、卸売・小売業、公務、不動産業、保健衛生・社会事業の割合が低くなっている。

【表３７】産業別就業人口の推移　（単位：千人、％）

		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
山形県	就業人口	642.6	100.0	611.4	100.0	566.0	100.0	562.1	100.0	562.5	100.0
	第１次産業	71.0	11.1	66.1	10.8	55.6	9.8	51.7	9.4	48.7	8.7
	第２次産業	223.3	34.8	186.7	30.5	164.0	29.0	159.9	29.1	160.6	28.6
	第３次産業	347.5	54.1	355.6	58.2	336.6	59.5	338.3	61.5	353.1	62.8
庄内	就業人口	163.9	100.0	154.1	100.0	141.9	100.0	140.1	100.0	138.1	100.0
	第１次産業	17.6	10.7	17.5	11.3	14.4	10.2	13.7	9.8	13.3	9.6
	第２次産業	57.4	35.0	46.6	30.3	39.9	28.1	38.2	27.2	38.7	28.0
	第３次産業	88.8	54.2	89.8	58.2	85.4	60.2	84.7	60.5	86.1	62.3

※業種分類不能があるため、就業人口と産業別就業人口の合計は一致しない。資料：国勢調査

【図８】庄内地域の産業別人口と構成比の推移（国勢調査）

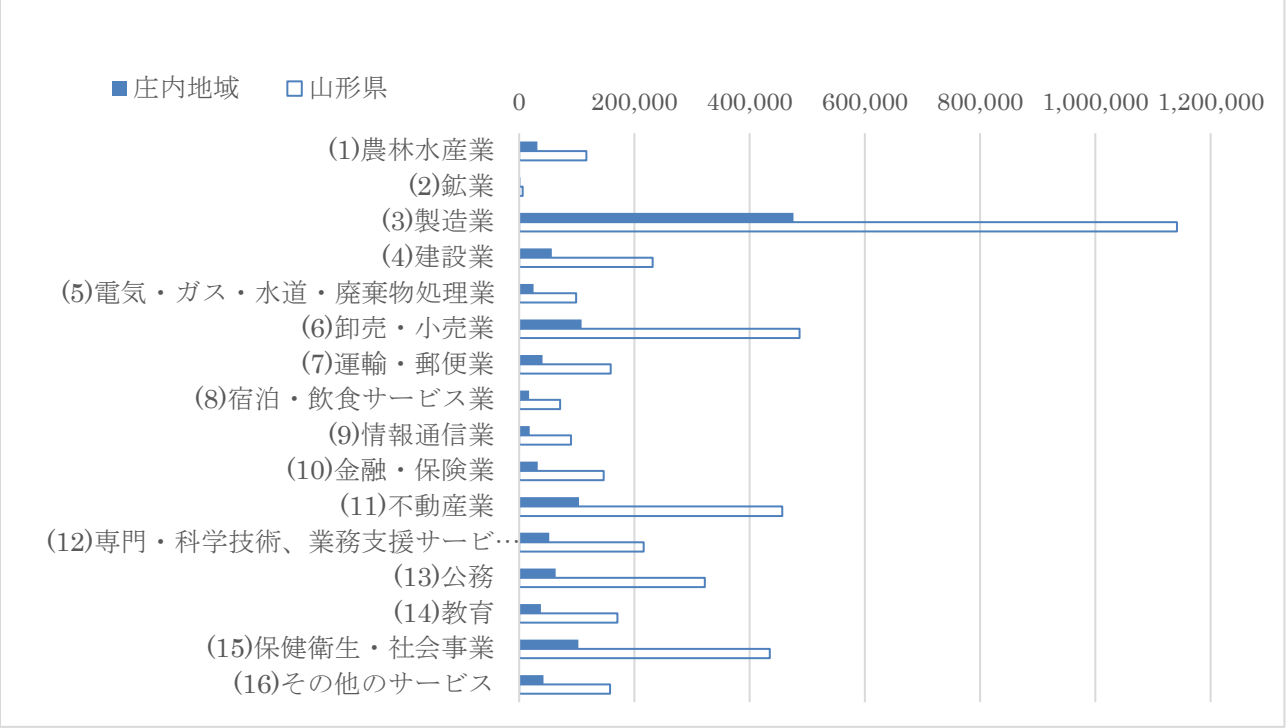


【表３８】産業別総生産（令和４年度）　（単位：百万円）

	庄内地域		山形県		庄内の
	金額	構成比	金額	構成比	割合
(1)農林水産業	31,662	2.6%	116,421	2.7%	27.2%
(2)鉱業	1,943	0.2%	6,073	0.1%	32.0%
(3)製造業	475,994	39.0%	1,141,789	26.3%	41.7%
(4)建設業	56,613	4.6%	231,650	5.3%	24.4%
(5)電気・ガス・水道・廃棄物処理業	25,074	2.1%	98,948	2.3%	25.3%
(6)卸売・小売業	108,477	8.9%	486,872	11.2%	22.3%
(7)運輸・郵便業	40,691	3.3%	158,673	3.7%	25.6%
(8)宿泊・飲食サービス業	16,953	1.4%	70,815	1.6%	23.9%
(9)情報通信業	18,133	1.5%	90,242	2.1%	20.1%
(10)金融・保険業	32,277	2.6%	146,626	3.4%	22.0%
(11)不動産業	103,783	8.5%	456,622	10.5%	22.7%
(12)専門・科学技術、業務支援サービス業	52,372	4.3%	216,211	5.0%	24.2%
(13)公務	63,196	5.2%	322,377	7.4%	19.6%
(14)教育	37,952	3.1%	170,513	3.9%	22.3%
(15)保健衛生・社会事業	102,760	8.4%	435,188	10.0%	23.6%
(16)その他のサービス	42,143	3.5%	157,626	3.6%	26.7%
(17)小計（1～16）	1,210,022	99.2%	4,306,646	99.2%	28.1%
(18)輸入品に課される税・関税	32,147	2.6%	114,415	2.6%	28.1%
(19)（控除）総資産形成に係る消費税	22,655	1.9%	80,634	1.9%	28.1%
(20)合計（17+18-19）	1,219,513	100.0%	4,340,427	100.0%	28.1%

資料：市町村民経済計算（令和７年６月）

【図９】産業別総生産（令和４年度）　（単位：百万円）



資料：市町村民経済計算（令和７年６月）

（２）農業

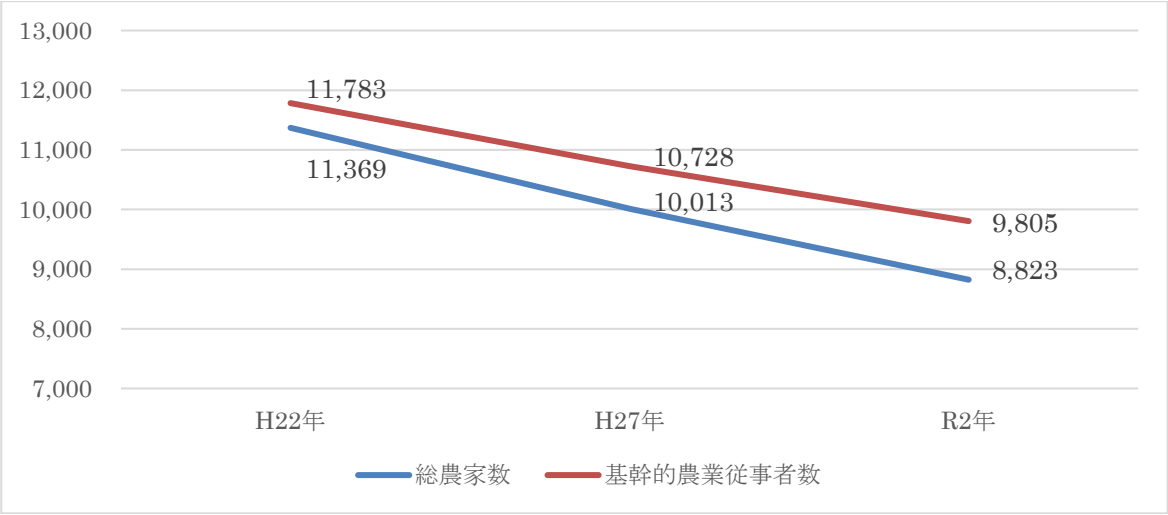
令和２年の庄内の農家数は 8,823 戸で、平成 27 年調査時に比べ 1,190 戸（11.9%）減少した。基幹的農業従事者数の推移を見ると、令和２年は 9,805 人で、平成 27 年調査時に比べ 923 人（8.6%）減少した。

庄内の耕地面積の減少は続いているが、減少割合は全県に比較すると緩やかである。

【表３９】農家数、基幹的農業従事者数、耕地面積　（単位：戸、人、ha、%）

		H22 年	H27 年	R2 年	増減率	
					H27/H22	R2/H27
山形県	総農家数	53,477	46,224	39,628	△13.6	△14.3
	基幹的農業従事者数	52,015	45,821	39,034	△11.9	△14.8
	耕地面積	123,100	121,100	116,900	△1.6	△3.5
	水稲作付面積	68,200	65,300	64,700	△4.3	△0.9
庄内	総農家数	11,369	10,013	8,823	△11.9	△11.9
	基幹的農業従事者数	11,783	10,728	9,805	△9.0	△8.6
	耕地面積	42,800	42,670	42,070	△0.3	△1.4
	水稲作付面積	26,900	26,320	26,830	△2.2	1.9

【図１０】庄内地区農家数、基幹的農業従事者数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」、「作物統計」

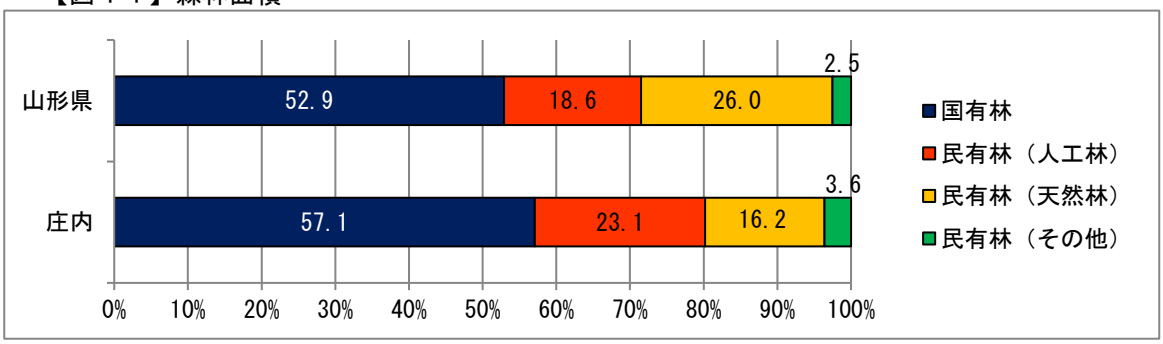
（３）林業

庄内地域の森林面積は 162,226ha で、県全体の 24%を占めている。県全体と比較すると、民有林のうち人工林の比率が高く、天然林の比率が低いのが特徴である。

庄内地域における木材（素材）生産量は、約 103 千㎥であり、県全体の 17.4%を占めている。

また、きのこの生産量は、県全体は豪雨災害で大きく減少したが、庄内の産地は生産量を伸ばした。山菜の生産量は、昨年並みとなっている。

【図１１】森林面積



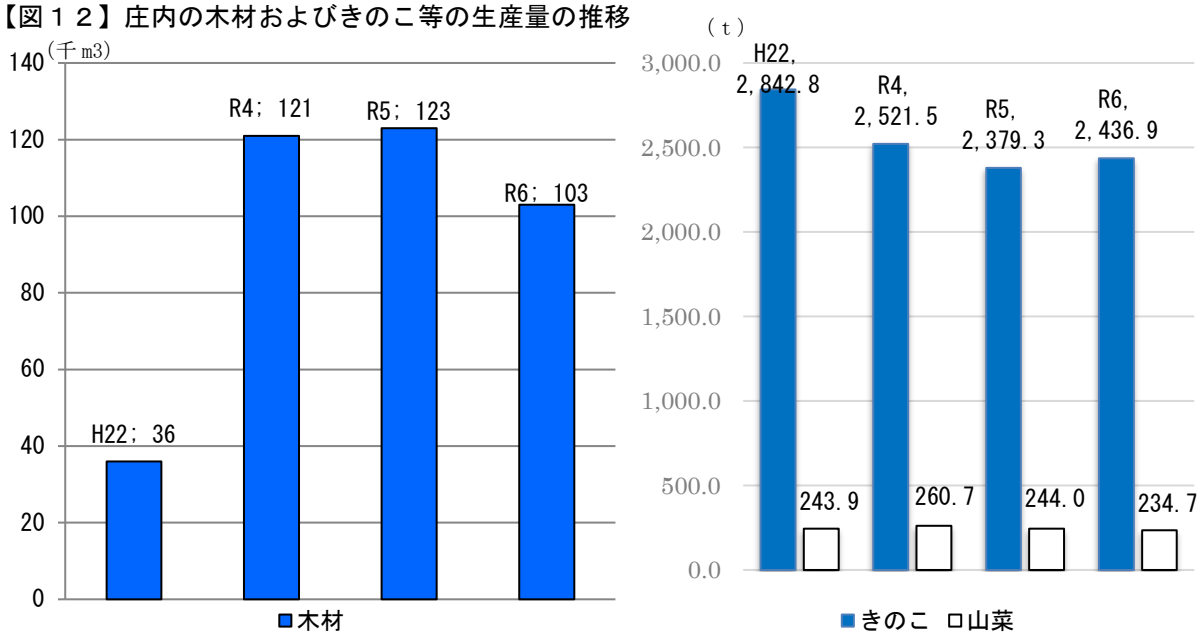
資料:「山形県林業統計（令和 6 年度)」

【表４０】庄内の木材およびきのこ等の生産量

		庄内				山形県（令和 6 年次）	庄内の割合(%)
		平成 22 年次	令和４年次	令和５年次	令和６年次		
木材（素材）（千㎥）		36	121	123	103	591	17.4
特用林産物	きのこ（t）	2,842.8	2,521.5	2,379.3	2,436.9	6,504.0	37.5
	山菜（t）	243.9	260.7	244.0	234.7	603.8	38.9

資料：木材は「山形県木材統計」(R6 データ)、特用林産物は「R6 特用林産物生産統計調査」

【図１２】庄内の木材およびきのこ等の生産量の推移



資料：木材は「山形県木材統計」(R6 データ)、きのこ、山菜は「R6 特用林産物生産統計調査」

（４）水産業

庄内地域の漁業は、日帰り操業を中心とした沿岸漁業が主力となっており、令和５年の経営体数は 209 経営体で、平成 30 年に比べ 75 経営体（26.4%）減少し、山形県漁業協同組合の組合員数は 1,001 人で、259 人（20.6%）減少した。

令和５年の漁獲量は 2,843 トン（前年比 75%）で、生産額は、20 億 39 百万円（前年比 86%）となっている。

魚種別にみると、「するめいか」、「たい類」、「ほっこくあかえび」、「ずわいがに」、「たら」、「いわがき」、「べにずわい」、「さけ・ます」の生産額が大きい割合を占めている。

【表４１】海面漁業の主要指標

	H15 年	H20 年	H25 年	H30 年	R5 年
経営体数（体）	504	416	359	284	209
山形県漁協組合員数（人）	1,665	1,514	1,413	1,260	1,001
漁船隻数（隻）	1,065	950	837	669	546
漁獲量（t）	7,574	8,047	6,304	5,045	2,842
生産額（百万円）	2,940	3,046	2,687	2,810	2,039

資料：「2023 年漁業センサス」、「山形県の水産」

【表４２】魚種別生産額　（単位：千円）

	H15 年	H20 年	H25 年	H30 年	R5 年
さけ・ます	95,561	94,317	73,869	111,096	45,681
たい類	249,451	251,812	279,666	231,423	200,769
かれい類	171,263	136,800	116,199	71,076	36,045
ひらめ	88,083	109,796	60,616	44,662	32,150
たら	99,767	214,719	132,303	160,097	94,003
はたはた	158,960	110,156	103,911	100,028	8,453
さわら	－	71,326	85,168	27,471	5,985
するめいか	795,437	703,514	800,281	1,203,621	539,498
ほっこくあかえび	185,905	204,948	135,044	140,899	168,113
ずわいがに	36,812	26,105	91,960	83,076	159,346
べにずわい	65,974	51,223	55,644	62,086	57,233
いわがき	103,494	123,336	82,632	37,530	58,001
あわび	39,435	50,298	48,044	37,404	18,368
海藻類	37,650	35,377	22,242	35,581	13,312
その他	812,550	862,412	598,985	464,041	602,350
合　　計	2,940,342	3,046,139	2,686,564	2,810,091	2,039,307

資料：漁協統計
H15 以前の「さわら」は「その他」に含まれる

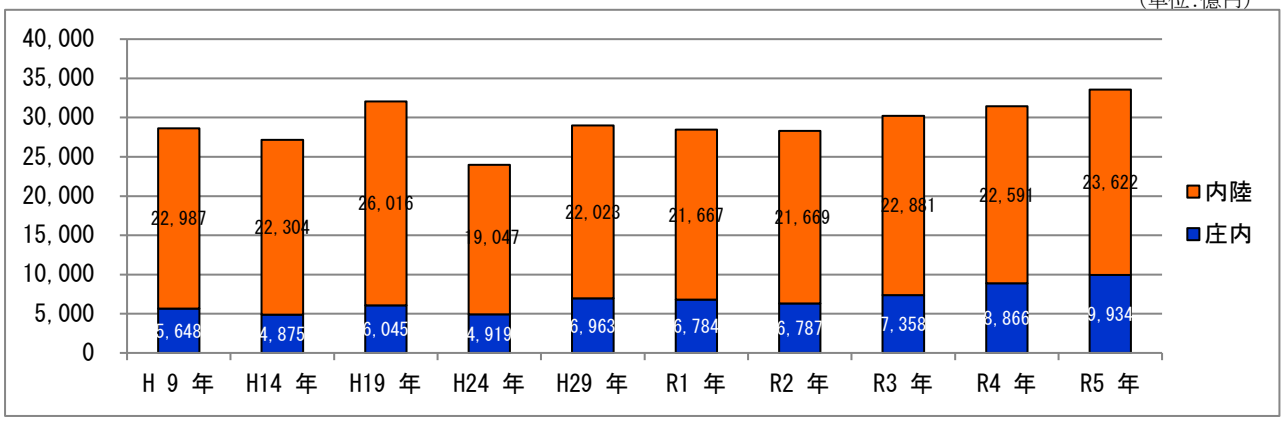
（５）工業

令和５年における庄内地域の製造品出荷額は 9,934 億円で、県全体の 29.6%を占め、前年より 1,068 億円の増加となった。

庄内地域の製造品出荷額の内訳をみると、電子部品･デバイス･電子回路製造業 6,111 億円（61.5%）食料品製造業 724 億円（7.3%）、化学工業 692 億円（7.0%）の占める割合が高い。特に電子部品･デバイス･電子回路製造業は前年比 22.1%増加した。

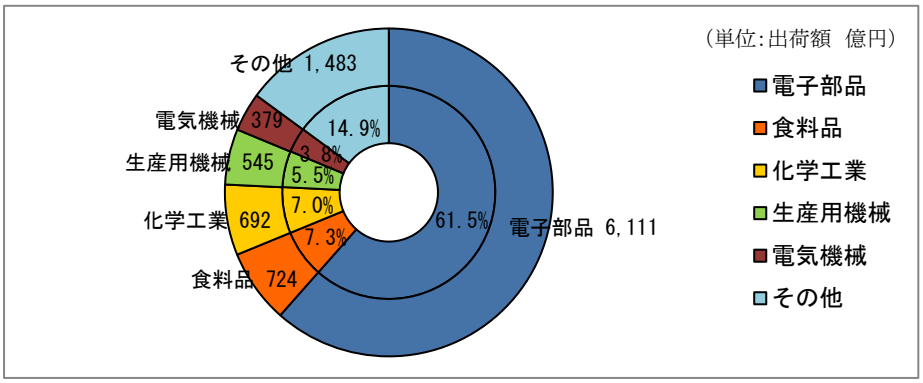
【図１３】製造品出荷額の推移

（単位:億円）



資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

【図１４】庄内地域の製造品出荷額内訳（令和５年　産業中分類別）



資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

【表４３】主な製造品出荷額等（令和５年　産業中分類別）

（単位：出荷額　億円）

	電子部品		食料品		化学工業		生産用機械		電気機械		その他		全産業計	
	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比
庄内	6,111	61.5%	724	7.3%	692	7.0%	545	5.5%	379	3.8%	1,483	14.9%	9,934	100%
全県	8,998	26.8%	3,397	10.1%	3,738	11.1%	2,670	8.0%	1,629	4.9%	13,124	39.1%	33,555	100%

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

【表４４】事務所・従業員数（令和５年）

地域別	事業所数	従業員数
庄内地域	598　所	22,341 人
全県	2,700　所	97,681 人

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

【表４５】工業立地

地域別	工場立地件数
庄内地域	3　件
全県	9　件

資料：経済産業省「2024 年工場立地動向調査」

【表４６】市町村別付加価値額(令和５年)　（単位：上段億円、下段万円）

	山形県	庄内地域	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町
総付加価値額	13,440	5,389	4,259	947	61	63	59
従業員一人当たり	1,372	2,400	3,605	1,130	742	687	1,136

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

（６）商業

令和３年６月１日現在の庄内地域の商店数は、卸売業、小売業を合わせ、3,391 店(平成 28 年比 12.7%減)で、県全体に占める割合は 26.5%となっている。

年間販売額は、約 5,250 億円で、県全体の 21.0%を占め、商店数の割合に比べて低い。特に、卸売業の年間販売額は 2,405 億円で県全体に占める割合は 18.5%にとどまっている。

【表４７】卸売業の商店数、年間販売額の推移　（単位：店、億円）

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額
山形県	3,196	14,805	3,234	11,330	3,282	12,175	3,153	13,902	2,782	12,998
庄内	850	3,308	876	2,258	850	2,298	845	2,604	724	2,405

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表４８】小売業の商店数、年間販売額の推移　（単位：店、億円）

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額
山形県	13,710	12,222	12,047	10,775	11,700	11,425	11,343	11,979	10,011	11,966
庄内	3,706	3,099	3,260	2,670	3,131	2,792	3,038	2,869	2,667	2,845

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表４９】 従業者数の推移　（単位：人）

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業
山形県	24,681	74,401	23,769	68,918	24,143	69,589	24,335	67,267	21,358	66,731
庄内	6,035	18,866	5,683	17,266	5,704	17,282	5,670	16,692	5,201	16,620

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表５０】小売業の売り場面積の推移　（単位：㎡）

	H19.6.1	H24.2.1	H26.7.1	H28.6.1	R3.6.1
山形県	1,703,001	1,525,026	1,581,770	1,485,793	1,524,663
庄内	440,893	392,562	393,042	370,954	393,939

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

（７）労働

庄内地域の令和８年２月の有効求人倍率は、1.64 倍（鶴岡 1.49 倍、酒田 1.79 倍）で前月比変わらず、前年同月比では 0.03 ポイント減（県全体は 1.29 倍）。

【表５１】有効求人倍率の推移　（単位：倍、ポイント）

	R 元年度	R２年度	R３年度	R４年度	R５年度	R６年度	R８年１月	R８年２月
庄内	1.63	1.36	1.66	1.77	1.52	1.59	1.64	1.64
	（前年同月比）						▲0.09P	▲0.06P
（鶴岡）	1.61	1.37	1.68	1.82	1.63	1.58	1.50	1.49
（酒田）	1.66	1.35	1.64	1.72	1.42	1.60	1.77	1.79
全県	1.47	1.11	1.35	1.57	1.38	1.34	1.27	1.29
	（前年同月比）						▲0.08P	▲0.03P

※ 新規学卒を除きパートタイムを含む全数
資料：山形労働局「労働市場月報」

（８）観光

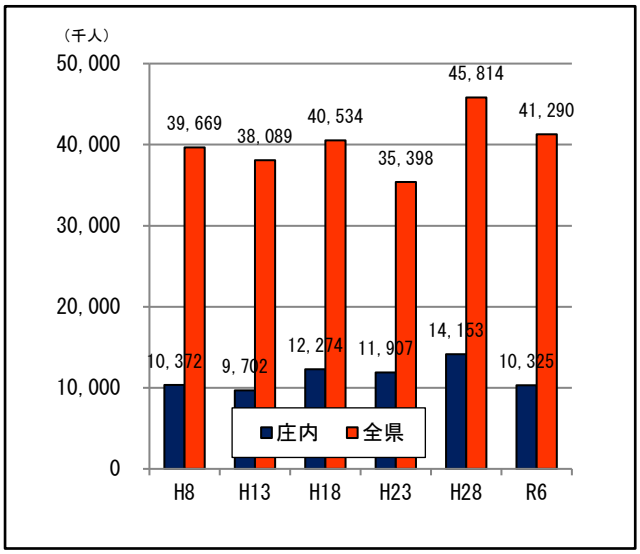
令和６年度の庄内地域の観光者数は 10,325 千人（前年比 96.9%）で、県全体に占める比率は 25.0%であった。

観光者数を類型別にみると、「道の駅」が最も多く、次いで「温泉観光地」となっている。

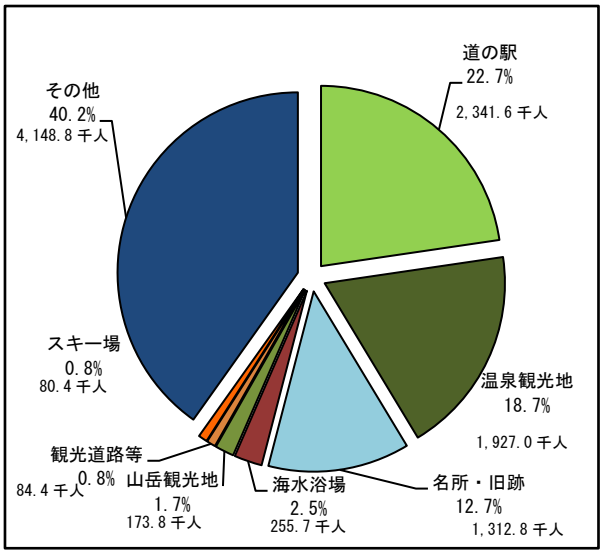
個別にみると、「道の駅鳥海ふらっと」が 1,775 千人で最も多く、次いで「羽黒山」570 千人、「酒田夢の倶楽（山居倉庫）」477 千人、「庄内観光物産館」438 千人、「産直あぐり」378 千人の順となっている。

対前年比では、令和６年７月 25 日からの大雨や梅雨、猛暑などの気象条件により、山岳観光地や海水浴場、観光道路等で観光者数が大幅に減少した。

【図１５】年次別観光者数

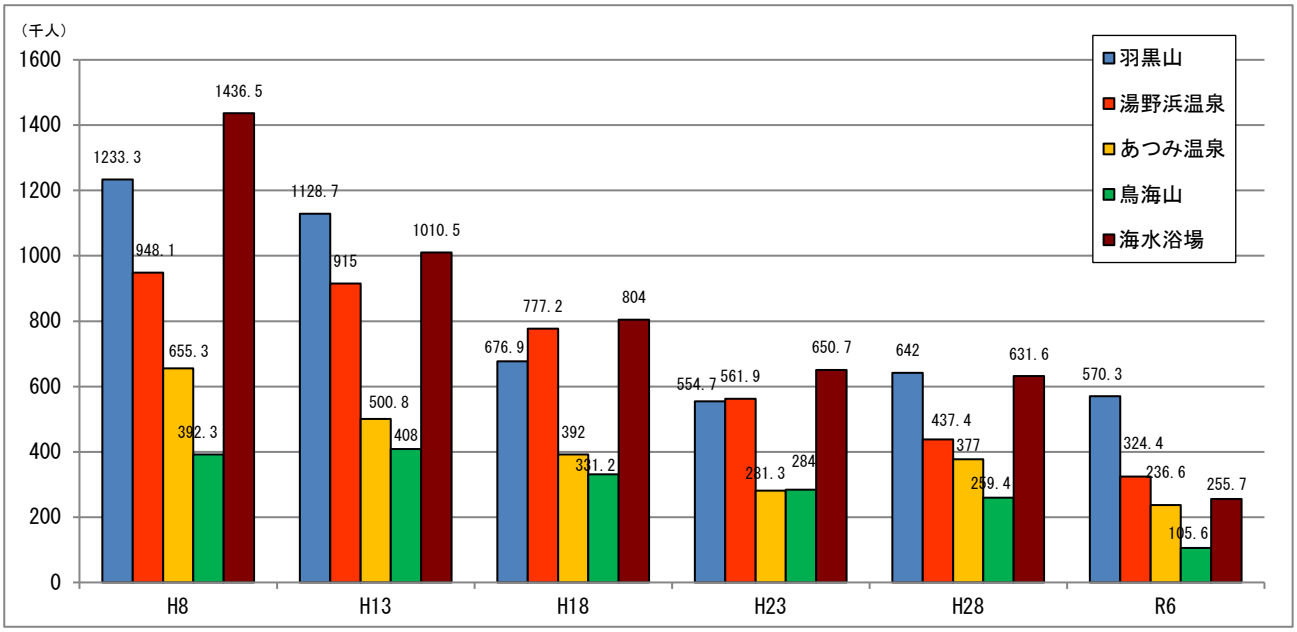


【図１６】観光地類型別観光者数（令和６年度）



資料：山形県観光者数調査

【図１７】観光客数の推移（管内主要観光地）



資料：山形県観光者数調査

（９）「食の都庄内」づくり

イタリアンシェフ奥田政行氏による「食の都庄内」の提唱があり、平成 16 年度から「食の都庄内」づくりの取組みが開始。

○　コンセプト

庄内の四季折々の多彩な食材と、歴史・風土が育んだ食文化を、庄内の魅力として地域内外に発信するとともに、事業者や個人などによる、生産、加工、販売、観光交流等における多様かつ主体的な取組みをとおして、「食の都庄内」のブランド化を推進し、食を起点とした地域産業の活性化を図る。

○　「食の都庄内」親善大使（庄内の「食材」と「食文化」をもとに、常に創造的な料理を生み出し、庄内の多彩な食の魅力を全国に発信する料理人）

奥田　政行（おくだ　まさゆき）氏	アル・ケッチァーノ　オーナーシェフ	H16 委嘱
古庄　浩（ふるしょう　ひろし）氏	フードコーディネーター	H17 委嘱
土岐　正富（とき　まさとみ）氏	日本料理研究家	H25 委嘱

○　「食の都庄内」づくり推進会議

庄内地域の産学官金の関係機関・団体が参画し、官民一体となって「食の都庄内」づくりの実現に向けた取組みを推進するため、平成 22 年 11 月に設置。

○　「食の都庄内」ブランド戦略会議

庄内管内２市３町及び庄内総合支庁が参画し、「食の都庄内」ブランドの形成及び食を起点とした地域産業の活性化を図ることを目的に、平成 26 年４月に設置。

○　「食の都庄内」協力店

庄内の「食材」と「食文化」を活かした商品やサービスを提供し、積極的に庄内の食の魅力のＰＲを行う事業者。飲食店、ホテル・旅館、小売店、加工・製造業者など食に携わる事業者が対象。

店　数：623 店（令和８年３月末日現在）

○　「食の都庄内」サポーター

庄内の食の魅力をＳＮＳや口コミ等で発信する個人

人　数：3,015 名（令和８年３月末日現在）

協力店ステッカー



サポーターピンバッジ



「食の都庄内」公式ＳＮＳ

１５　教　育

庄内地域の小中高校の児童数及び生徒数は、少子化の傾向を反映して年々減少している状況にある。

大学等進学率（短大、通信制含む）は、県平均より低い傾向にあり、令和７年度は 47.1％と県平均 50.5％を 3.4 ポイント下回っている。

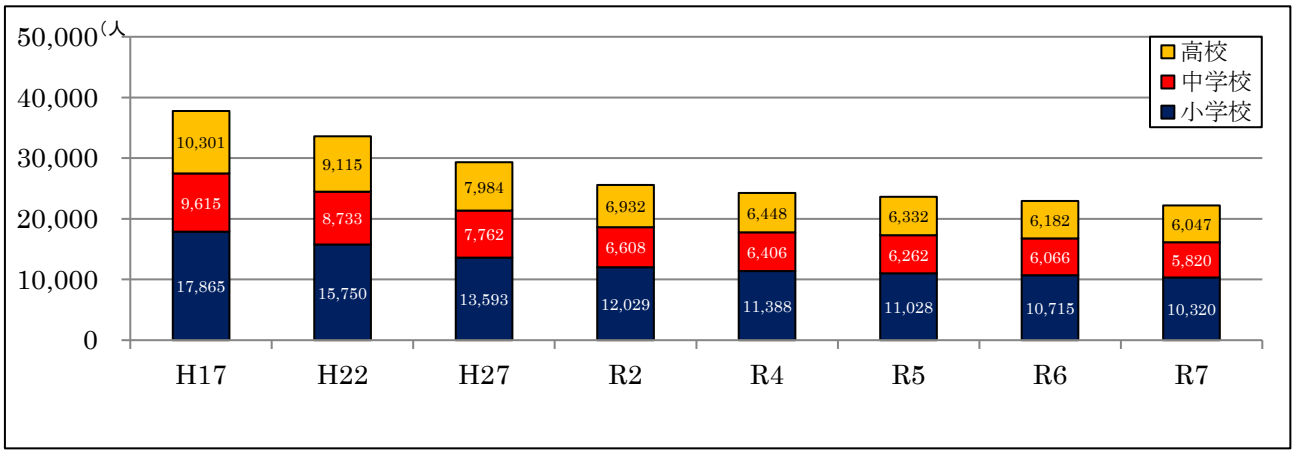
高校新規学卒県内就職率は、平成 24 年から上昇傾向にあり、57％以上であるものの、県平均より低い状況にある。

【表８１】小学校・中学校・高等学校の状況（令和７年５月１日現在）

	小学校			中学校			高等学校	
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	生徒数
鶴岡市	26	295	4,951	12	130	2,879	7	3,510
酒田市	22	209	3,722	8	92	2,064	4	2,308
三川町	3	28	405	1	9	196	－	－
庄内町	5	47	804	2	23	416	1	159
遊佐町	1	20	438	1	14	265	1	70
庄　内	57	599	10,320	24	268	5,820	13	6,047

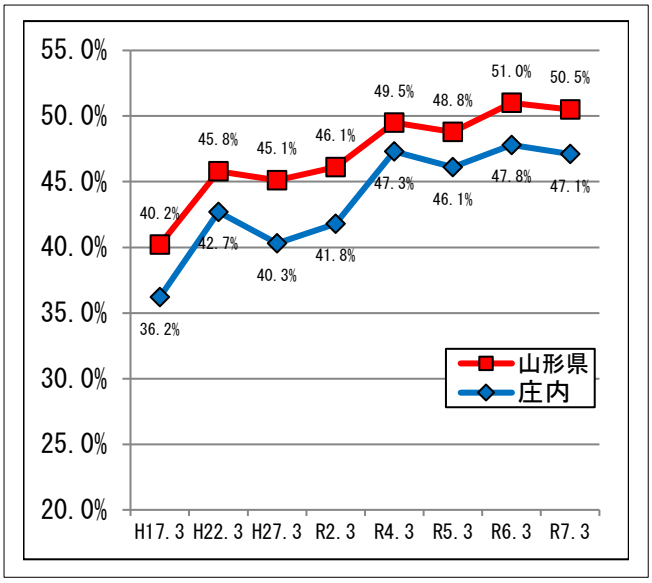
※学校所在地の区分による。高等学校の生徒数に通信制の生徒数は含まれていない。
資料：みらい企画創造部統計企画課「令和６年度学校基本調査結果報告書」

【図２７】小中高校の生徒数の推移

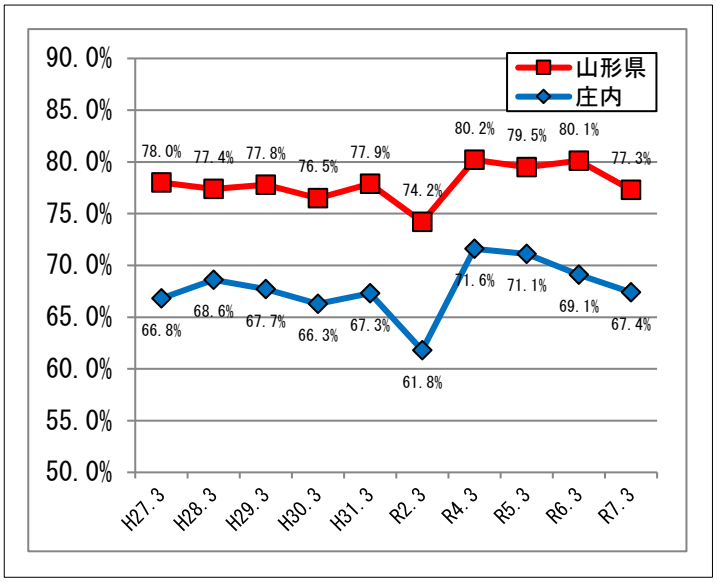


資料：みらい企画創造部統計企画課「令和７年度学校基本調査結果報告書」

【図２８】大学等進学率の推移



【図２９】高校新規学卒県内就職率



※大学等進学率及び高校新規学卒県内就職率については、学校所在地の区分によるものとする。
資料：【図 28・29】みらい企画創造部統計企画課「令和７年度学校基本調査結果報告書」

【表８２】その他教育機関

学校名	開校年月日	学生・生徒数	所在地
（１）大学等			
山形大学農学部	S25.5	704 名	鶴岡市若葉町 1-23
山形大学 大学院農学研究科（修士・博士）	S43.4	90 名	
東北公益文科大学公益学部	H13.4	944 名	酒田市飯森山 3-5-1
東北公益文科大学 大学院公益学研究科（修士・博士）	H17.4	18 名	鶴岡市馬場町 14-1
産業技術短期大学校庄内校	H9.4	61 名	酒田市京田 3-57-4
（２）国立高等専門学校			
鶴岡工業高等専門学校	S38.4	825 名	鶴岡市井岡字沢田 104
（３）専修学校			
鶴岡市立荘内看護専門学校	S25.3	62 名	鶴岡市馬場町 2-1
酒田市立酒田看護専門学校	H22.4	85 名	酒田市中町 3-7-16
酒田調理師専門学校	S46	34 名	酒田市幸町 2-10-12
（４）特別支援学校			
酒田特別支援学校	H23.4	103 名	酒田市宮海字新林 307
鶴岡養護学校	S54.4	118 名	鶴岡市大塚町 5-44
鶴岡高等養護学校	S61.4	45 名	鶴岡市稲生 1-20-33

※学生数は令和７年５月１日現在
資料：教育庁総務課「令和７年度山形県学校名鑑」

１６　庄内地域の発展方向

※ 第４次山形県総合発展計画から抜粋

〔地域特性〕

○　県内で唯一、２つの 10 万人規模の都市が隣接する地域圏が形成されている。

○　日本海に面し、豊穣の庄内平野、本県唯一の離島飛島や秀麗な鳥海山などの豊かな風土に育まれた多様で多彩な地域資源を持つ。

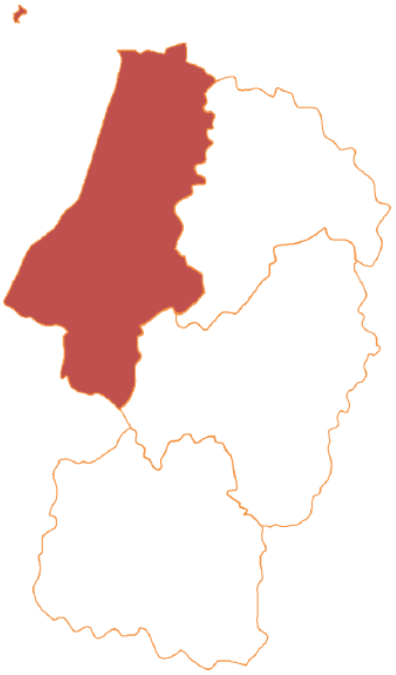
○　出羽三山信仰や修験道にみられる精神文化、北前船交易による湊町文化や庄内藩が育んだ城下町文化、時代を超えて広く根付く「公益」の精神などが連綿と継承されている。

○　東北公益文科大学や山形大学農学部をはじめ、鶴岡工業高等専門学校や産業技術短期大学校庄内校等の多様な高等教育機関がコンパクトに立地している。

○　多彩な食材と歴史・風土が育んだ食文化を地域内外に発信する「食の都庄内」の取組みにより、「食」のブランド価値が大きく高まっている。

○　慶應義塾大学先端生命科学研究所を核として、世界をリードするバイオサイエンス関連産業の集積が加速している。

○　庄内空港と酒田港の２つの「港」を擁し、世界につながる「空」と「海」のゲートウェイ機能が集積している。



〔発展方向（目指す姿）〕

○　誰もが安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティが形成されている。

○　ものづくりから農業に至るまで、全ての産業分野にわたるイノベーションにより、地域経済が持続的に発展している。

○　先人が育んできた精神文化や食文化、豊かな自然環境などの強みを活かし、空と海の２つのゲートウェイを起点として「人」と「モノ」の交流がグローバルな規模で展開されている。

〔地域の発展に向けた主な取組み〕

（ⅰ）「庄内」の人々の暮らしを支える活力あふれる地域コミュニティの形成

○　オール庄内で「シビックプライド＝郷土への誇り」を醸成するための体験プログラムを展開するなど、若者の地元定着促進に向けた取組みを強化していく。

○　庄内で活躍する若者との協働による庄内地域の魅力・企業情報発信の強化等、ふるさと回帰促進のための取組みを加速していく。

○　若者や女性が活躍し、自己実現が可能となる環境づくりを進めるとともに、高齢者が経験・知恵を活かし生きがいを持って活躍できる地域づくりを推進していく。

（ⅱ）「庄内」の強みを活かし高い付加価値を創出する産業群の形成

○　バイオサイエンスをはじめとする先端技術分野における産業集積を加速していくとともに、新たな価値を生み出すチャレンジやＩＣＴの活用等による生産性の向上、新たなマーケットの開拓など、全ての産業分野にわたるイノベーションを促進していく。

○　多彩な食材と料理人の技が創り出す「食の都庄内」のブランド価値をさらに磨き上げ、「食」を基軸とする多様な交流の拡大につなげていくための取組みを強化していく。

○　庄内空港や酒田港などのゲートウェイ機能を活用した「人」と「モノ」の交流拡大に向け、インバウンドや地域産品の輸出拡大、外航クルーズ船の誘致などの取組みを推進していく。

（ⅲ）「庄内」の交流・発展を支える社会基盤の形成

○　日本海沿岸東北自動車道の秋田・新潟両県境部未供用区間の早期整備とともに、地域高規格道路も含めた格子状ネットワークの早期実現に向け、隣県等と連携した活動を強化していく。

○　庄内空港、酒田港の利用拡大を推進するとともに、機能強化に向けたオール庄内による取組みを加速していく。

○　洋上を含めた風力発電の開発を通した地域経済の活性化や、木質バイオマス等地域資源の活用によるエネルギーの地産地消を促進していく。